

事業番号	事務事業名	防災士資格取得補助金	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
00724	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	草苺 周作
	施策名	41 消防・防災対策の推進	根拠法令等	鏡野町防災士資格取得補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<p>防災士の資格を取得しようとする町民に対して、資格取得に係る経費を助成し、地域での地域防災リーダーを育成する。</p> <p>※防災士とは、NPO法人日本防災士機構が認定する民間資格で、様々な場で減災と防災力向上のための活動を行うための十分な意識・知識・技能を有すると認定された者。</p>	<p>令和元年度から、地域防災の担い手の育成を促進し、地域防災力の向上を図るため「防災士」の資格取得に必要な経費について助成し、資格取得後に地域の自主防災組織で活動をしていただく。</p>

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績		12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 災害への意識向上	ア 日頃から防災の備えをしている町民の割合	%	目標 実績 達成率		70.0 40.9 58.4%	80.0 44.1 55.1%	50.0	55.0 80.2%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 地域防災への啓発活動	ア 防災士資格取得人数	人	目標 実績 達成率		5 7 140.0%	5 1 20.0%	5	5 20.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 15		大事業 中事業					事業番号											
	一般会計		総務費		総務管理費		防災諸費		07	01															
	予算上の事業名														00724										
	防災士資格取得補助金																								
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金			155	155	155	155	県支出金			4	155	155	4												
町債							町債																		
その他特財							その他特財																		
一般財源		110	155	155	155	45	一般財源		60	5	155	155	-55												
合計		110	310	310	310	200	合計(A)		60	9	310	310	-51												
財源名称	岡山県防災まちづくり総合支援事業補助金						従事正職員人数			1	1	1	1												
							延べ業務事務時間			3	3	3	3												
							人件費計(千円)(B)			11	10	10	10	-0											
	最終予算額		310 千円		予算執行率		2.9%		トータルコスト(A+B)			71	19	320	320	-51									
主な支出事業内容(予算)	補助金						310 千円						主な支出事業内容(決算)	補助金						9 千円					

事業番号	00724	事務事業名	防災士資格取得補助金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和元年度より実施。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和元年度より実施。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
消防団員特例制度の問い合わせや、岡山県内で講習会開催を希望する声も寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	防災士が地域での自主的な防災活動を行うことにより、防災意識や、災害への備えは向上する。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	防災士の取得には、高額な経費を要するため、資格を取得希望の方が増えてきている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地域での防災活動は、昨今の災害等に対して、日ごろから訓練や備えを行う事が非常に有効であり、地域での防災リーダー育成は重要と考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	補助率は、10分の10。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	高齢化が進み、防災リーダーの担い手が少なくなっているため、影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助率は、10分の10。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助率は、10分の10。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金交付業務について、民間委託は出来ない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	防災士は、誰でも取得可能な資格であり、公平、公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症により、受講場所や開催が制限されているが、引き続き、受講場所等の情報を広く周知し、活用していただくように努める。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・取得に係る情報提供を行う(ホームページ、広報紙、CATV)。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
町民をはじめ、消防団、消防団OBへ、防災士補助金制度の周知を行う。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							